

Elasticsearch Service on Elastic CloudがMicrosoft Azureで利用可能に

リアルタイム検索エンジン、ログ分析、アナリティクスなどの幅広いユースケースに利用可能なソフトウェアを提供するElastic（本社：オランダ／アムステルダム、代表取締役：Shay Banon）は、**Elasticsearch Service** on Elastic CloudをMicrosoft Azureで利用可能になったことを発表致します。

クラウドプロバイダーのさらなるオプションを求めており、Azureの強力なグローバルリーチを重視しているマネージドサービスユーザーの多くにとって、Elasticsearch Service on Azureのリリースは朗報となります。さらに、Azureで標準化している組織には、使用しているそのプラットフォームで、Elasticsearchの作成者が提供するフルマネージドのElasticsearch Serviceを活用できるようになります。これは今まで実現できなかったことです。

利便性について

▼AzureでElasticsearch Serviceを使用しているユーザー
ボタンをクリックするだけで、Elasticsearchの作成者が提供するフルマネージドサービスのElasticsearchおよびKibanaをデプロイできるようになりました。

▼既にElasticsearch Serviceをご使用中のお客様

既存のアカウントでAzureをデプロイすることができ、新規のお客様は**14日間のElasticsearch Serviceのトライアル**を開始することができます。

ElasticとMicrosoftのコラボレーションでさらに成功を促進

AzureでElasticsearch Serviceを利用できるようにすることで、Elastic StackとMicrosoft製品の両方のユーザーにさらに優れたエクスペリエンスがもたらされます。Elasticユーザーの多くはすでにAzureでElasticsearchをデプロイ済みであり、ほとんどの場合、コラボレーションによって数年前にリリースされたElastic Stack用のARMテンプレートを活用しています。Elasticは他の分野のMicrosoftテクノロジーをサポートしています。たとえば、.NETクライアント、WindowsOSイベント収集用のWinlogbeat、セキュアなElasticsearchクラスターへのAzure Active Directoryの統合、Elastic APM製品での.NETサポートなどです。Microsoftとのコラボレーションは、双方のユーザーのコミュニティに役立つため重要です。

ElasticsearchとAzure、および便利な機能のすべて

Elasticsearch Service on Elastic Cloudは、Elasticが開発/サポートを行うマネージドのオフィシャルなElasticsearchおよびKibanaのサービスです。Elastic APM、SIEM、Maps、Canvas、機械学習、**その他**多数の機能が提供されるとともに、他では得られない技術的専門知識のサポートが提供されます。常に最新のリリースが利用でき、セキュリティパッチが適用されているため、ユーザーは自信を持ってElasticsearchとKibanaを活用することができます。また、1回のクリックでデプロイメントをアップグレードでき、ダウンタイムはゼロです。

そして、これらすべての利点がAzureユーザーにもたらされることになりました。

「両社はともに開発者とオープンソースを重視しているため、この統合は非常に自然な流れでした。選択肢に関する Microsoft の取り組みは、Microsoft Azure における開発者エクスペリエンスから容易に見て取ることができます。それは Elastic と通じるものがあります」と、Elastic の創業者兼 CEO、シャイ・バノンは述べています。

Microsoft Corp. のクラウド+AI グループ EVP、スコット・ガスリー氏は次のように述べています。「クラウドサービスを採用しようとしているお客様に、クリティカルなアプリケーションの検索、ロギング、監視性、セキュリティなどの最も重要なニーズに対応するソリューションを提供できることは大きなアドバンテージとなります。Microsoft と Elastic はともに開発者の選択肢とマネージドサービスに注力しており、両社のお客様に利点がもたらされます」。

すべての Elasticsearch Service ユーザー、および 2 つの Azure リージョン（米国東部のバージニアと西ヨーロッパのオランダ）から提供されているトライアルのユーザーは、パブリックベータ版にアクセスできます。これには Elasticsearch Service の完全な機能セットが含まれます。ベータ版の期間中、Elastic の技術サポートを利用できます。このサービスの一般提供は 2019 年後半を予定しています。さらに、ミッションクリティカルサポートのサービスレベルを追加する予定です。

ベータ版リリースの一環としてプロモーション期間も提供します。この期間中、データ転送（入力/出力/ノード間移動）とスナップショットストレージ（総ストレージサイズとリクエスト）は無料です。パブリックベータ版の提供中におけるフィードバックを歓迎いたします。また、プロモーション期間の詳細については、すぐにアナウンスいたします。

Elastic と Microsoft 両社のエンジニアリングチームは協力して、Elastic のさまざまなユースケースと Azure で Elasticsearch Service を実行する際のパフォーマンスプロファイルをサポートするために、慎重にベンチマーキングおよび最適な VM の選択を行っています。この取り組みにより、Elasticsearch Service on Azure を最適化する 4 つのデプロイテンプレートを作成しました。

- **高 I/O**：検索または一般的なユースケースに最適なこのテンプレートは、高負荷の読み込み/書き込みに最適化されたローカルの NVMe SSD を持つ L シリーズ VM 上で稼働します。
- **ホット/ウォーム**：ロギングおよび時系列のユースケースに最適な強力なアーキテクチャーです。高速アクセス用に NVMe SSD、コスト効果の高い長期保存用に 1 対 100 の RAM/ディスク比の HDD ストレージ、これらを組み合わせて使用します。
- **高 CPU**：通常、スクリプト、計算、入力処理、またはその他の計算負荷の高いユースケースに使用されるこのテンプレートは、2 倍の CPU を提供します。
- **高メモリー**：データボリュームが少ない場合の検索ユースケース向けに、コスト効果の高いオプションとなります。

Elasticsearch Service on Azure の使用を開始する

現在、Elasticsearch Service をご利用の場合は、ログイン後、デプロイの作成時に Azure リージョンを選択していただけます。セルフマネージドワークロードへの移行を計画している場合は、Elastic が提供する資料をご確認ください。また、詳細についてはこちらのウェビナーをご覧ください。すべてのリリースで「ユーザーにより使いやすく」することに重点を置く Elastic は、移行作業も可能な限りシンプルになるよう取り組んでいます。

Elasticsearch Service の新規導入をご検討の場合、Elasticsearch Service は Azure Marketplace または Elastic Web サイトで見つけることができます。ぜひ 14 日間の無料トライアルをご利用ください。メールアドレスの登録だけでお試しください。ご質問がある場合は、お気軽にお問い合わせ下さい。

Elastic について

全文検索エンジンを提供する企業、Elastic は Elastic Stack (Elasticsearch、Kibana、Beats、Logstash の製品群) の開発元です。検索、ログ、セキュリティ、分析などのユースケースで大規模データをリアルタイムに処理するサービスを、オンプレミスと SaaS で提供しています。

Elastic、および関連するロゴとマークは、Elastic N.V. 及びその関連会社の商標または登録商標です。その他の企業名と製品名は、所有者の商標である可能性があります。

<報道関係者様からのお問い合わせ>

Elastic 広報事務局 (担当 伊藤、ジェレミー、佐藤)

TEL 03-6427-1627 FAX 03-6730-9713 Mail: contact@kartz.co.jp